

より良いものをめざして。
想いを、ひとつに。

地域の皆さまとともに、地域ならではの魅力を。

A 青森県 / A-Factory・あおりシールド



青森・弘前市の皆さんと一緒に
A-Factoryは青森県産りんごをシールド・ジュースなどに加工する工
房と青森県産の食材が楽しめる市場としてオープン。あおりシールド
は青森県産100%の「ふじ」と「ジョナゴールド」を使用しています。

B 岩手県 / 岩泉の極味肉饅



岩泉町の皆さんと一緒に
「いわて食材発信プロジェクト」から生まれた肉饅です。餡には
「いわいずみ短角牛」と岩泉産生しだけ、水は「龍泉洞の水」を
使用するなど、岩泉の「味力」にこだわった、プレミアム肉饅です。

C 岩手県 / タラのタルタルソースハンバーグ



宮古市の皆さんと一緒に
盛岡のソウルフードである福田パンのパンズと岩手県産の真鱈を
使用したヘルシーなハンバーグです。タラのハンバーグ開発には、
被災された水産加工会社にご協力いただきました。

D 新潟県 / 佐渡 千年の杉



佐渡市の皆さんと一緒に
佐渡千年の杉はホテルファミリア佐渡相川と尾畑酒造(佐渡市
真野地区)、地元農家との連携で生まれた純米吟醸のお酒です。
酒米はホテル前の田んぼで収穫された「五百万石」を使用しています。

E 新潟県 / 十日町すこやかファクトリー



十日町すこやかファクトリーでは、卵・乳・小麦不使用のアレルギー対応
ケーキや菓子などを製造。十日町地域の特産品である魚沼産コシヒカリ
米(米粉)を使用し、地域経済の発展や雇用の促進に貢献しています。

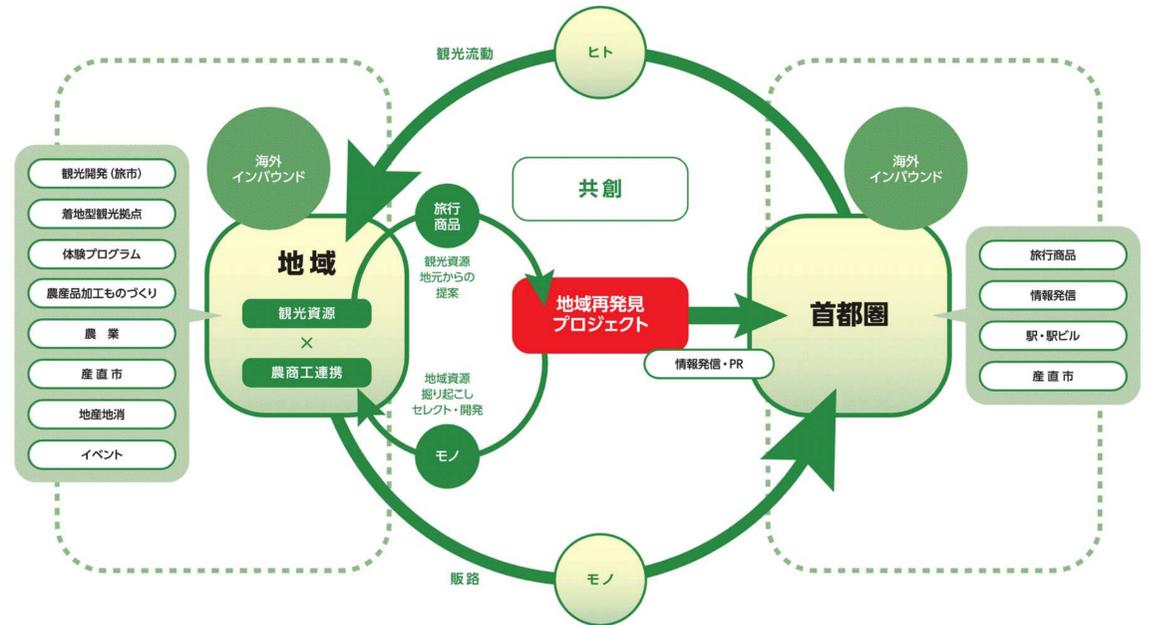
F 福島県 / JRとまtrandいわきファーム



いわき市に新法人「JRとまtrandいわきファーム」を設立。2016年から
トマトの出荷を開始する予定です。太陽光利用型植物工場での安全・
安心・安定生産と6次産業化による地域との連携を進めています。

地域と首都圏をつなぐJR 東日本グループの 地域再発見プロジェクト ただいま進行中

地域再発見プロジェクトは、JR東日本グループが進める地域活性化プロジェクトです。
地域との連携を強化し、地元の皆さまと知恵を絞りながら、鉄道ネットワークの特性や首都圏での販路を活用し、
地産商品の掘り起こしや伝統文化、祭りなどの観光資源の紹介を行うことで地域活性化を進めています。
地域と連携した産直市の開催、伝統工芸品の発掘、農産加工商品の開発などを通し地域での新たな雇用創出や資源の活性化に努め、
イベントや地域情報の発信を地元と都心の双方向で行うことで人の移動も含めた交流の創出もめざしています。



地域の6次産業化に向けたものづくりを支援し、地域活性化をめざす「もの1-2-3」に取り組んでいます。



東日本各地で、
新たな価値を創造するプロジェクトが進行中

「もの1-2-3」は、地域の魅力ある素材を掘り起こし(1次産業)、優れた加工技術
など(2次産業)を組み合わせ、お客さま視点で踏まえた商品開発と販売(3次産業)
を推進する、ものづくりプロジェクトです。

2次(加工)や1次(生産)にも挑戦



地域の6次産業化に向けて、加工や生産にもチャレンジしています。
2014年9月、魚沼産コシヒカリを活用した菓子などの製造工場「十日町
すこやかファクトリー」を新潟県十日町市に開業。2016年には福島県い
わき市で「JRとまtrandいわきファーム」が稼働予定。素材の加工や
生産を通じて、6次産業化を図っていきます。

地産品ショップ「のもの」や「産直市」で、首都圏での販売や地域のPRを行っています。



地産品ショップ「のもの」上野店

地産品ショップ「のもの」で首都圏の「場」を提供

2012年、東日本各地域の生産者や行政と連携した食を中心とする地産品ショップ「の
もの」が上野駅にオープン。旬のもの、地のもの、縁(ゆかり)のものといった、東日本各
地域の魅力ある商品を掘り起こし、地域と首都圏がつながる「場」を提供しています。
また、商品の魅力とともに地域のPRも積極的にを行い、お客さまが地域に足を運ぶ
きっかけづくりも行っています。2014年に2号店である秋葉原店がオープンしています。



産直市で地域へと人をいざなう

産直市で地域へと人をいざなう

首都圏のエキナカで地産品を紹介する「産直市」は、生産者と
行政、JR東日本グループが一体となって行われています。生産者
による地産品の販売のほか行政と連携した観光PRや伝統芸能
などのイベントを開催し、その土地の魅力を紹介していくのが
特徴です。さまざまな地域のものに触れていただき、実際に現地
に足を運んでいただけるような観光流動の創造をめざしています。